

受審者からひとこと**ISO14001認証取得にあたり**

株式会社オーテックジャパン
環境マネジメント推進グループ
マネージャー 小谷 卓

1. 会社紹介

当社は1986年9月、日産グループ内にある特装車の機能と人材を集結させた独立会社として設立され、従来型の量産方式とは異なる新しいクルマづくりの道を拓いてきました。お客さまの個性化ニーズに応えるスペシャルビークル、クルマの乗り降りを補助するライフケアビークル、さまざまなビジネスシーンで活躍するワークユースビークルという3つの事業分野で、特装車を企画、開発、製造、販売しております。

2. 導入の背景

環境に対する取組みを「日産グリーンプログラム」として社会に公表しているグループの一員として、また日産車の架装メーカーとして、環境に関し積極的に取組む必要がありました。また今や製造業では、国内外において、ISO14001環境マネジメントシステム(以下略：EMS)の導入は当たり前となっており、認証取得なしではお客さまからの信用も得られないと判断し、導入することを決定しました。

3. 認証への足取り

2008年4月、環境マネジメント推進グループを発足させ、活動をスタートさせました。

まず「環境理念」及び「環境方針」の制定後、早速5月には全社キックオフ式を開催し、社員への啓蒙活動を開始しています。現状把握と合せ、要求事項より「環境マニュアル」の策定、従来からあった「業務処理基準書」を体系化させると共に、不足分の基準書類作成や内容の整合を図りました。

当初は2009年度に本審査を受ける予定でしたが、リーマンショックの影響で1年遅らざるを得ませんでした。

その間、EMSに沿った業務遂行と、「環境マニュアル」や「業務処理基準書類」の改訂を行い、初回審査を迎えることとなりました。

4. システム導入のメリット

EMSの運用を通して、①オーテックのマネジメントの質を更に向上させる。日常的に誰もがPDCAサイクルを回す習慣を身に付ける。②業務と密接にリンクさせ、単にCO2や一般ゴミの削減だけでなく、業務の効率化や経費削減等も促進させる。また、③環境面でもオーテックらしさを発揮し、茅ヶ崎地区のモデル工場として近隣からもベンチマーキングされ、ブランドイメージの向上につなげたいと考えています。

5. EMSの定着と今後の活動及び取組み

当然のことながら、「環境方針」達成のため、EMSに沿い①環境側面の定期見直し、②環境活動計画の策定並びに目的、目標の達成フォロー、③EMSの有効性の確認として内部監査の充実、④トップレビュー…という継続的なPDCAサイクルを回し、スパイラルアップと共にマネジメントの質の向上を図り、環境経営が自然に遂行出来る体質にしていきたい。

また当社は品質版のTS16949も取得しているため、これらマネジメントシステムの効率的な運用を図っていききたいと考えています。

